

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2008-92512(P2008-92512A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2006-273931(P2006-273931)

【国際特許分類】

H 04 R 1/40 (2006.01)

G 10 L 21/02 (2006.01)

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 04 R 1/02 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/40 3 2 0 Z

G 10 L 21/02 1 0 2 A

G 10 L 21/02 2 0 2 A

H 04 R 3/00 3 2 0

H 04 R 1/02 1 0 7

H 04 R 1/40 3 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音声入力用に複数のマイクを備える音声入力装置であつて、

少なくとも3つ以上のマイクを備え、各マイクとの間隔を夫々に異なるようないし

当該マイク間隔の少なくとも一対のマイクの間隔が、音声の上限周波数に対して、最大の入力音声信号レベルを得るように選択されている、ことを特徴とする音声入力装置。

【請求項2】

前記音声入力装置は3つのマイクを備え、

それぞれのマイクは、互いに異なる長さの辺を有する三角形の頂点に配置されている、ことを特徴とする請求項1に記載の音声入力装置。

【請求項3】

前記音声入力装置は4つのマイクを備え、

それぞれのマイクは、互いに異なる長さの辺を有する四角形の頂点に配置されている、ことを特徴とする請求項1に記載の音声入力装置。

【請求項4】

請求項1に記載の音声入力装置と画像を表示する画像表示装置とを備える携帯端末であつて、

前記複数のマイクの少なくとも2つは、前記表示装置を挟んで、対向する側に配置されている、ことを特徴とする音声入力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

上記課題を解決するため、本発明における音声入力装置は、
音声入力用に複数のマイクを備える音声入力装置であって、
少なくとも 3 つ以上のマイクを備え、各マイクとの間隔を夫々に異なるような配置とし

当該マイク間隔の少なくとも一対のマイクの間隔が、音声の上限周波数に対して、最大の入力音声信号レベルを得るように選択されている、ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】